

総合調整会議（2016. 1. 20）

- 日時：平成28年1月20日（水） 午前8時45分～午前9時20分
○場所：栗東市役所3階談話室
○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・昨日開催した栗東市地方創生懇談会において、本市の総合戦略の最終案を取りまとめることができた。懇談会の委員や市議会議員からいただいた意見等を踏まえ、一部修正が必要ではあるが、関係課で協力し対応すること。また、今後、市民へ説明していくことになるが、効果的な発信ができるよう、十分に検討を行うこと。
- ・行方不明者捜索等の対応に関して、今回の経験を踏まえ、市議会対応や広報等について、改めてマニュアル等を精査確認し、職員への周知徹底を行うこと。
- ・寒波により降雪が続く見込みであることから、農作物、農業施設への被害の確認、道路の雪寒対策など、万全の対策を施すこと。

2. 審議事項

【案件名】栗東市商工振興ビジョンロードマップ、並びに同ロードマップに基づく事業実施計画の策定について

→ 商工観光課長から説明

- ・栗東市商工振興ビジョンロードマップ、並びに同ロードマップに基づく事業実施計画を策定するにあたり、栗東市中小企業振興会議で協議、検討を行ってきた素案について、市の計画として決定するものである。
- ・実施計画の1ページから4ページについては、現在策定している総合戦略の骨子案を掲載していることから、総合戦略の内容の修正や変更があった場合は、同じ内容に載せかえることになる。
- ・今後のスケジュールについて、本日開催の総合調整会議の後、市議会の環境建設常任委員会協議会と議会説明会で報告する予定である。パブリックコメントについては、上位計画に栗東市中小企業振興基本条例が位置し、この条例制定時にパブリックコメントを実施していることから、このロードマップ等はパブリックコメントを実施しない考えである。
- ・議会説明会后には成案化できるが、実施計画については総合戦略とリンクしていることから、総合戦略がパブリックコメントを実施した後、総合戦略に合わせて3月に公表する予定である。

[副市長]

- ・ 1月12日に開催された中小企業振興会議や市議会環境建設常任委員会協議会において、計画内容の修正が必要となるような意見は出されたのか。

[商工観光課長]

- ・ 計画内容に修正を要するまでの意見は出されなかった。事業実施計画の各施策の考え方を説明したが、具体的な制度設計については、平成28年度に以降になることから、その段階で改めて進行管理などに対して意見をいただきたいと説明している。

[市長]

- ・ 昨日開催された地方創生懇談会において、委員から「現状でも国や県レベルでの中小企業支援策は多く設けられており、これらの窓口を主に担っている商工会と連携して、市単独よりも広い目線で国や県の施策を有効に使う方がいいのではないか」との意見がだされていたが、これまでもそのような話は出ていたのか。

[環境経済部長]

- ・ 滋賀県工業技術センターの活用をすることなど、中小企業振興会議において意見をいただいている。これらの活用については、ロードマップの解説版において盛り込んでいると考えている。

区分：決定

【案件名】第123回近畿市長会総会提出議案（国要望）について

→ 元気創造政策課長から説明

- ・ 第123回近畿市長会総会提出議案に係る国への要望事項について、市長会に提出する要望事項を決定するものである。
- ・ 各部に照会の結果、前回提出している要望事項である「急傾斜地崩壊対策事業における採択基準の要件緩和について」が建設部から提出された。若干の文言修正があるが、内容そのものに変更はない。
- ・ 今後のスケジュールについて、県市長会への提出後、県市長会担当課長会議においてとりまとめが行われ、県副市長会議での審議、県市長会議での審議という流れとなる。

区分：決定

3. 報告事項

【案件名】「栗東市役所庁舎等電力需給契約」にかかる一般競争入札（郵便入札）の結果について

→ 総務部長から説明

- ・平成28年度の市役所庁舎等全17施設で使用する電力供給に伴う、入札の結果を報告するものである。
- ・契約期間は平成28年4月1日から平成29年3月31日までであり、落札額は66,549,550円、落札者は株式会社F-POWERであった。
- ・対象施設は庁舎を含めて全17施設であり、高圧受電施設で負荷率が30%以下で、二酸化炭素排出量削減及び電気料金削減が可能な施設を選定し、入札を実施した。昨年度の電気料金と比較すると、約1,300万円の削減が図れる見込みであり、他の施設については、従来どおり関西電力株式会社と契約をする。

[教育部長]

- ・落札額については去年の実績値から算定されており、契約の締結は単価契約であることから、各施設が節電に取り組めば、昨年度と同等の使用量であれば電気料金が削減できるという認識でよいのか。

[総務部長]

- ・昨年度の使用量に対する契約額であり、引き続き節電に取り組んでもらいたい。

区分：了解

【案件名】地域密着型サービス施設整備事業者の公募について

→ 健康福祉部長から説明

- ・第6期栗東市介護保険事業計画に基づく施設を整備するため、地域密着型サービス施設を整備する事業者を公募するものである。
- ・小規模特別養護老人ホームとグループホームを各1施設公募する。開設時期は平成29年3月31日までに工事を完了し、平成29年度の早期にサービス提供が見込めることを条件としている。
- ・選考については、書類審査やプレゼンテーション等により総合的に審査し、事業予定者を決定するが、結果によっては、事業予定者なしとする場合がある。また、審査結果はホームページで公表をする。

[市民部長]

- ・平成28年4月の事業予定者決定後でなければ開設に向けて動き出せないことから、スケジュールが短期間となり平成28年度末の工事完了は厳しいのではないかと。予算の繰越は考えていないのか。

[健康福祉部長]

- ・予算を繰越はせずに年度内に完了してもらおう。グループホームは既存施設を増設することで対応できる事業者もあるが、小規模特別養護老人ホームは、応募されない可能性もある。

区分：了解

4. 閉会

副市長からの挨拶

- ・これから平成28年度予算の三役査定が始まる。長期間に亘り協議を進めていくことになることから、特に重要な事業等については、十分に時間をかけて議論し、適切に対応を図ること。
- ・年度末に向けて残された時間で、事業の進捗状況等を再確認し、内容を見極めながら対応を図ること。

以上